

新潟大学 人を対象とする研究等倫理審査委員会 オプトアウト書式

①研究課題名	急性期虚血性脳卒中に対する機械的血栓回収療法の効果と安全性に関する新潟県悉皆調査
②対象者及び対象期間、過去の研究課題名と研究責任者	
2021年1月1日から2022年12月31日に当科を含めた新潟県内で機械的血栓回収療法を施行された患者さんが対象です。	
③概要	
急性期虚血性脳卒中に対する機械的血栓回収療法(Mechanical thrombectomy、以下 MT)の有効性は確立されていますが、MTの普及が不十分な地域も存在すると言われています。また最近ではMTの適応拡大にむけての報告もなされてきています。本研究では2021年から2022年に新潟県内で施行されたMTを全て調査し、県内のMTの治療成績を調査するとともに、適応拡大にむけたエビデンスを検討します。	
④申請番号	2022-0042
⑤研究の目的・意義	新潟県内の病院の脳外科は全て新潟大学脳神経外科の関連施設であり、そのため新潟県内で施行されたMTを全例調査することが可能です。全例調査することで新潟県内の治療成績を調査するだけでなく、論文であるような選択された患者によるデータではなく、新潟県全体のデータで現存するエビデンスの再検討が可能と考えます。
⑥研究期間	倫理審査委員会承認日から2025年12月31日まで
⑦情報の利用目的及び利用方法（他の機関へ提供される場合はその方法を含む。）	電子カルテに保存されている病歴、画像所見、治療経過の情報を利用します。使用するデータは個人が特定されないように匿名化を行い、研究に使用します。研究の成果は、学会や専門誌などの発表に使用される場合がありますが、名前など個人が特定できるような情報が公表されることはありません。
⑧利用または提供する情報の項目	年齢・性別、既往歴、治療内容、治療結果、臨床経過を診療データ(電子カルテ)より収集
⑨利用する者の範囲	新潟大学 脳神経外科 共同研究機関：桑名病院：森田幸太郎、信楽園病院：伊藤靖、新潟市民病院：森田健一、新潟脳外科病院：源甲斐信行、村上総合病院：小田温、県立新発田病院：佐藤圭輔、三之町病院：倉部聡、立川総合病院：阿部博史、長岡赤十字病院：本橋邦夫、新潟県立中央病院：菊池文平、魚沼基幹病院：米岡有一郎
⑩試料・情報の管理について	本学：新潟大学 脳神経外科 渋谷 航平

責任を有する者	
①お問い合わせ先	所属：新潟大学脳神経外科 医局 氏名：渋谷 航平 Tel：025-227-0653 E-mail：shindainougeka@bri.niigata-u.ac.jp